

未定稿

恵那市 公共施設白書

平成27年4月発行



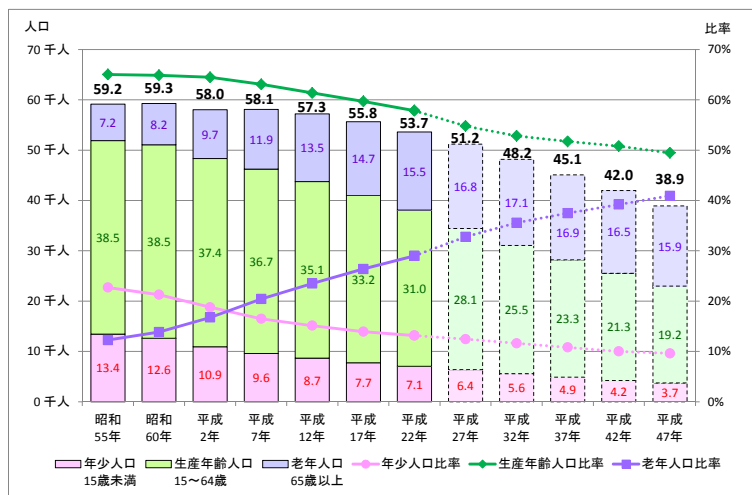
（合併後の恵那市の公共施設の現状を見える化しました。）

● 人口状況

➤ 人口推移と将来予測

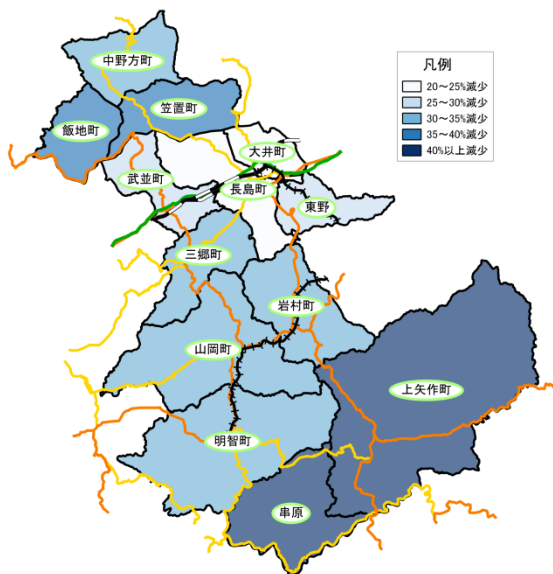
昭和30年代から6万人前後で推移してきた人口が近年では減少傾向を見せ、今後更に減少すると予測。平成22年から平成47年までの25年間で約1万5千人（約28%）減少。

少子高齢化も進行し、平成47年の年齢区分別人口年少人口約10%、生産年齢人口約50%、老年人口約40%という構成になる。



➤ 地域別人口減少予測

減少率が低い大井町・長島町でも20%以上減少する。
減少率が高い串原・上矢作町では40%以上減少する。

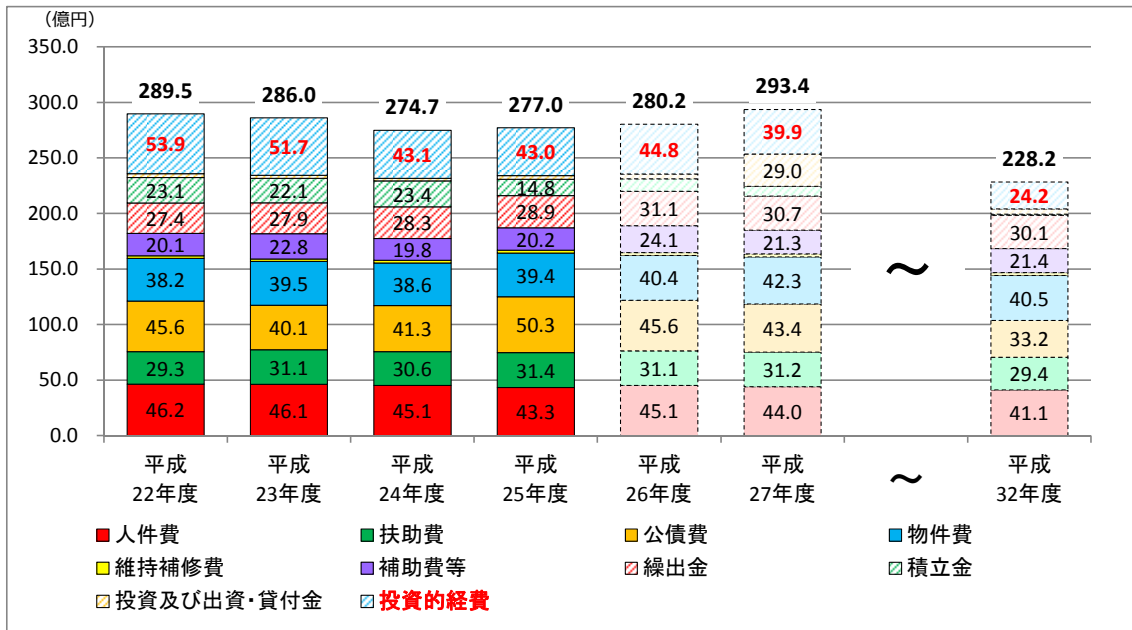


● 財政状況

➤ 歳出の予測

近年は280億円前後で推移しているが、平成32年には228.2億円（平成25年度比で約18%減）まで歳出が減少すると予測。

その中でも、公共施設の建設・改修やインフラの整備に使われる投資的経費は、約半分まで減少する。



● 施設状況

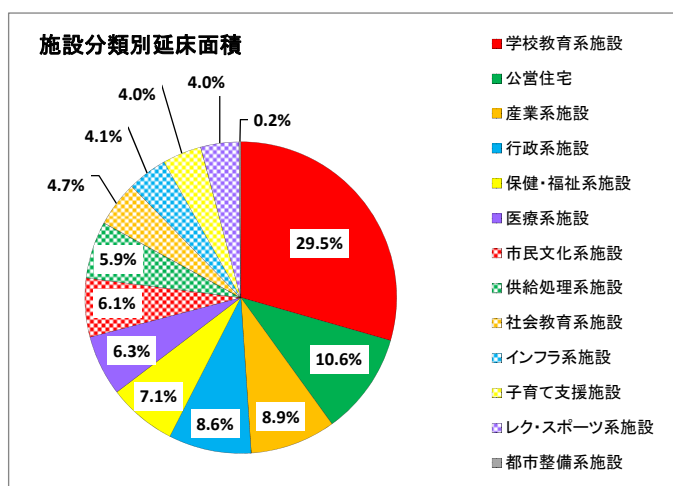
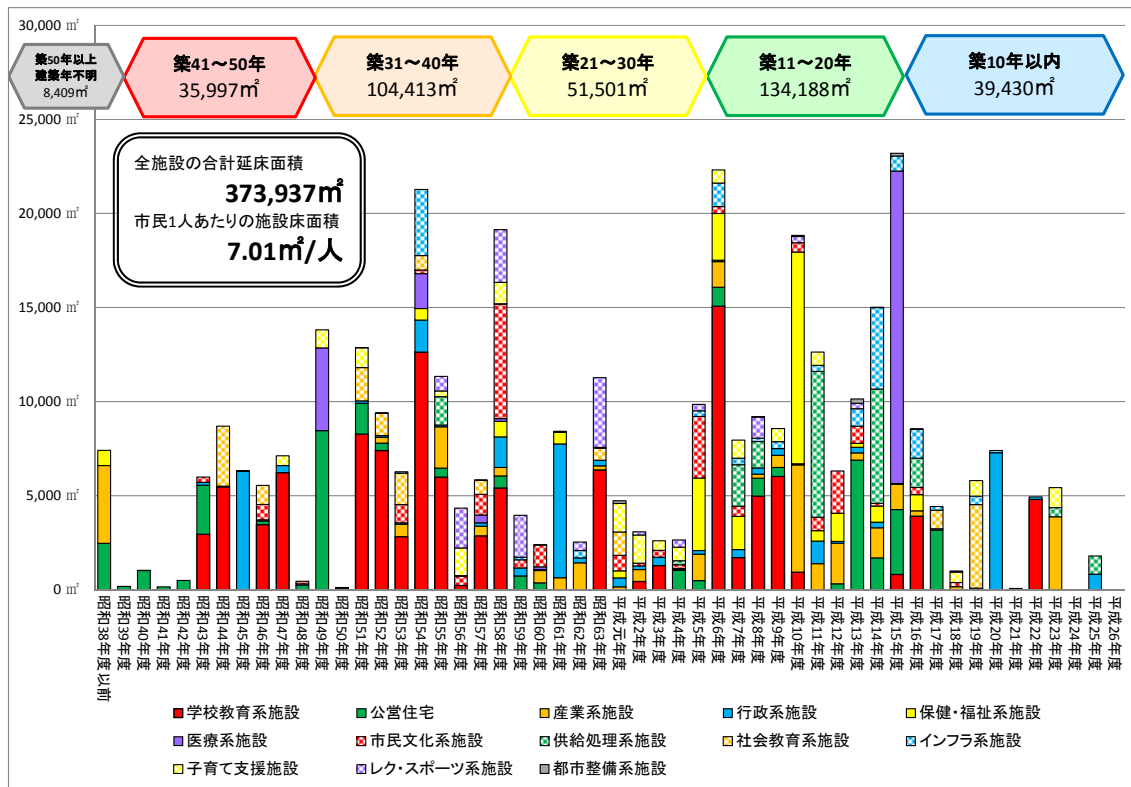
➤ 施設規模

全施設の合計床面積は約 37.4 万㎡。

市民 1 人あたり施設床面積は 7.01 ㎡/人で、全国平均（3.42 ㎡/人）の約 2 倍。

築 30 年以上の施設が約 40%、約 15.2 万㎡ある。

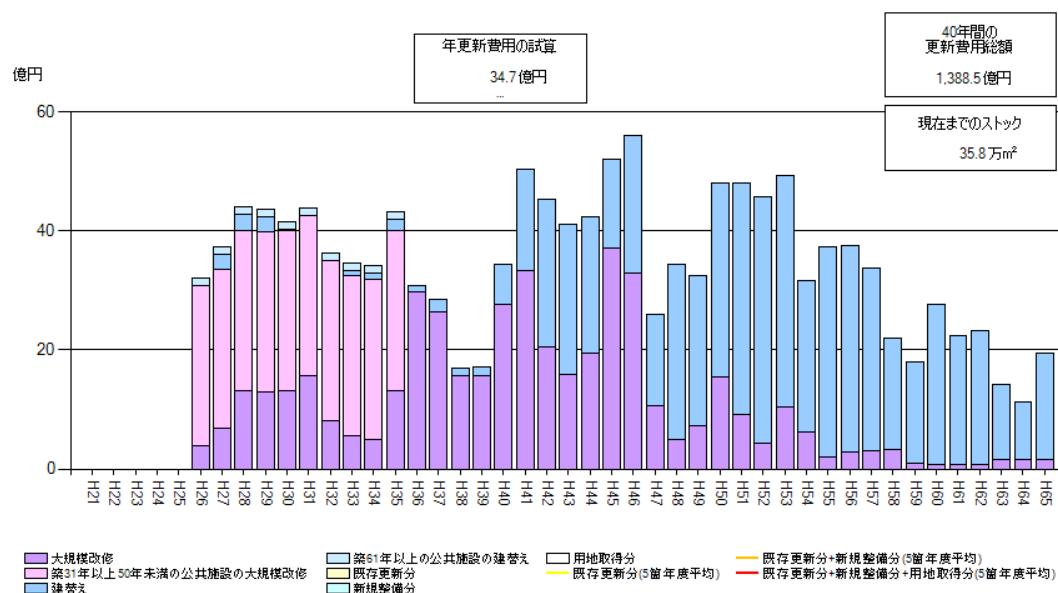
学校教育系施設が全体の約 30%を占める。



➤ 施設の建替え・改修にかかる費用

公共施設の建替え・改修に今後 40 年間で総額 1388.5 億円、年平均 34.7 億円必要になる。

公共施設整備に使われる投資的経費は年●●億円であり、全ての施設を更新することはできない。



※投資的経費の内訳が不明なため、施設更新費用が不明

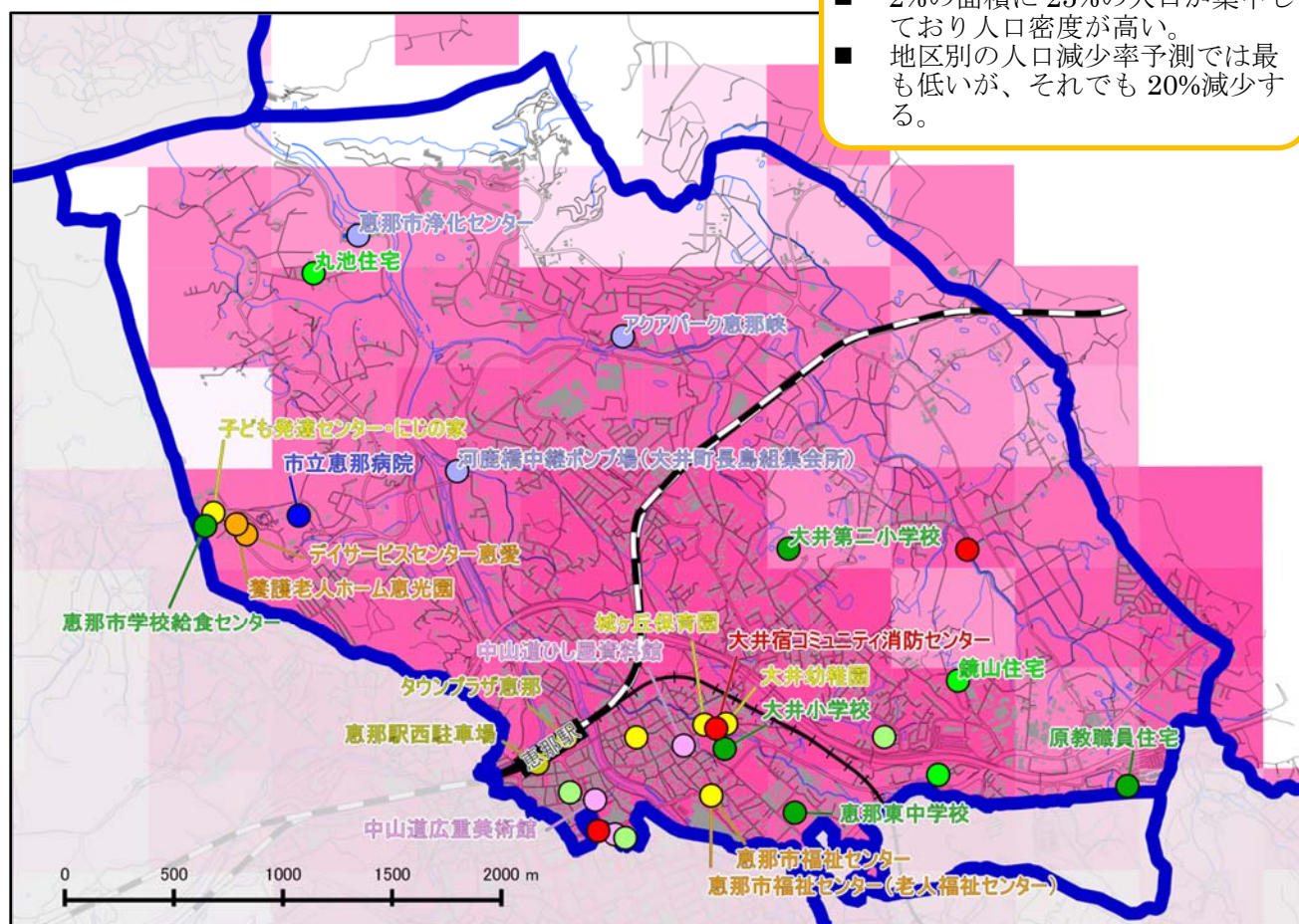
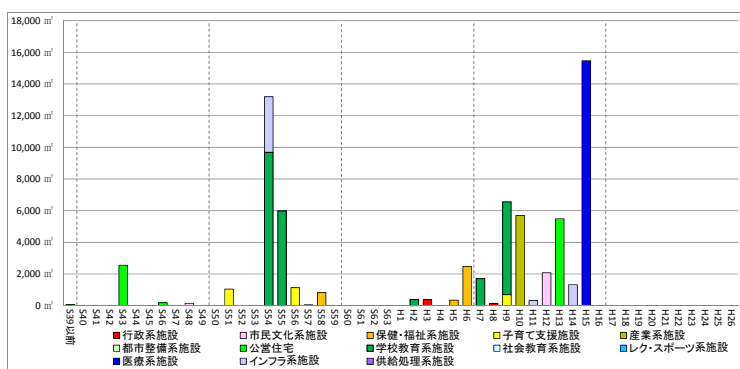
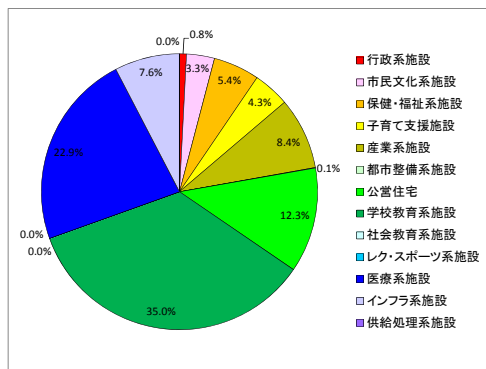
➤ 投資的經費

- ◇ 公共施設に係る投資的経費
 - ◆ 既存更新分
 - ◆ 新規整備分
 - ◆ 用地取得分
- ◇ 道路及び橋梁に係る投資的経費
- ◇ 公共施設、道路及び橋梁に係る用地取得費

大井地区

地区面積	11.54 km ²
人口(H26.4.1住民基本台帳)	13,349 人
人口密度	1,156.8 人/km ²
人口減少予測(H22-H47)	▲20.3% (H47:10,770人)

施設 延床面積	67,602 m ²
1人あたり床面積	5.06 m ² /人
1人あたり負担額	11.1 万円/人

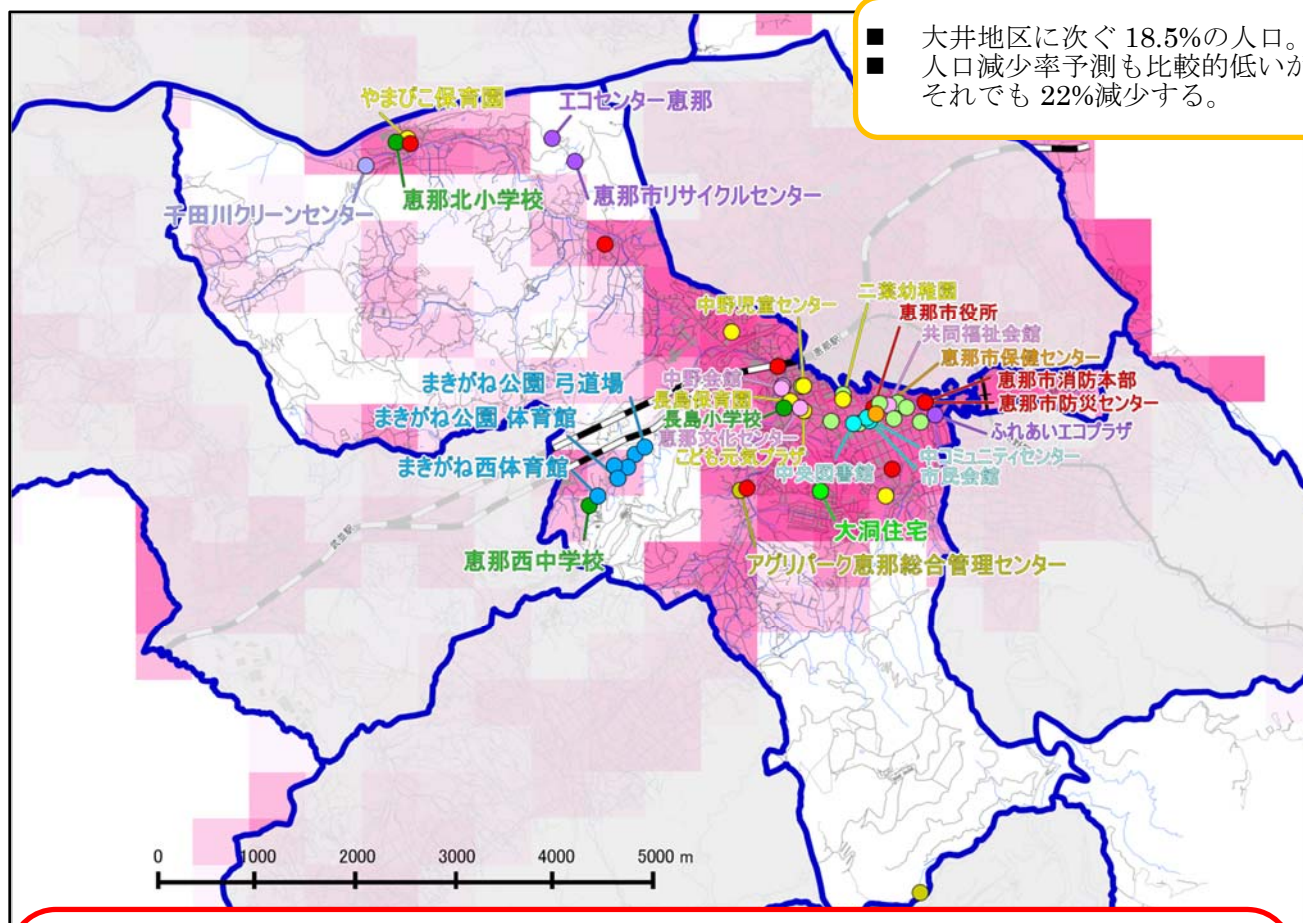
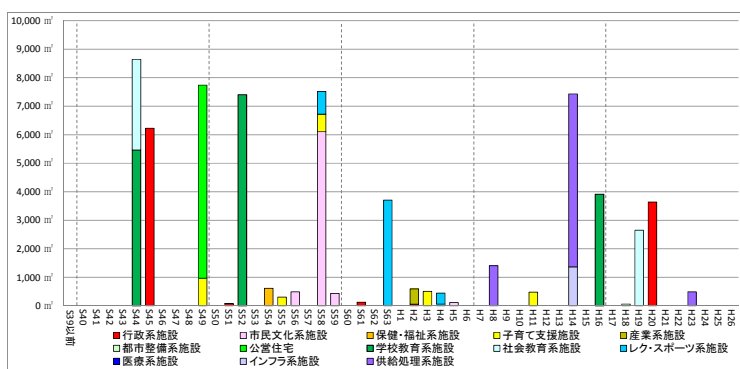
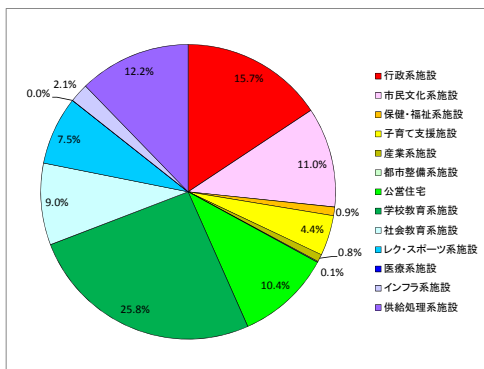


- 長島・明智と並び最大規模の施設を有する。
- 中学校、小学校2校、幼稚園、保育園、学校給食センターなど教育・子育て施設が多い。
- 施設規模が最も大きい(延床面積1万5千m²以上)の市立恵那病院がある。
- 規模の大きい下水道処理施設(浄化センター・アクアパーク恵那峡)がある。
- 公営住宅も明智に次ぐ規模を有する。

長島地区

地区面積	29.03 km ²
人口(H26.4.1住民基本台帳)	9,889 人
人口密度	340.6 人/km ²
人口減少予測(H22-H47)	▲22.1% (H47:7,740人)

施設 延床面積	65,038 m ²
1人あたり床面積	6.58 m ² /人
1人あたり負担額	14.4 万円/人



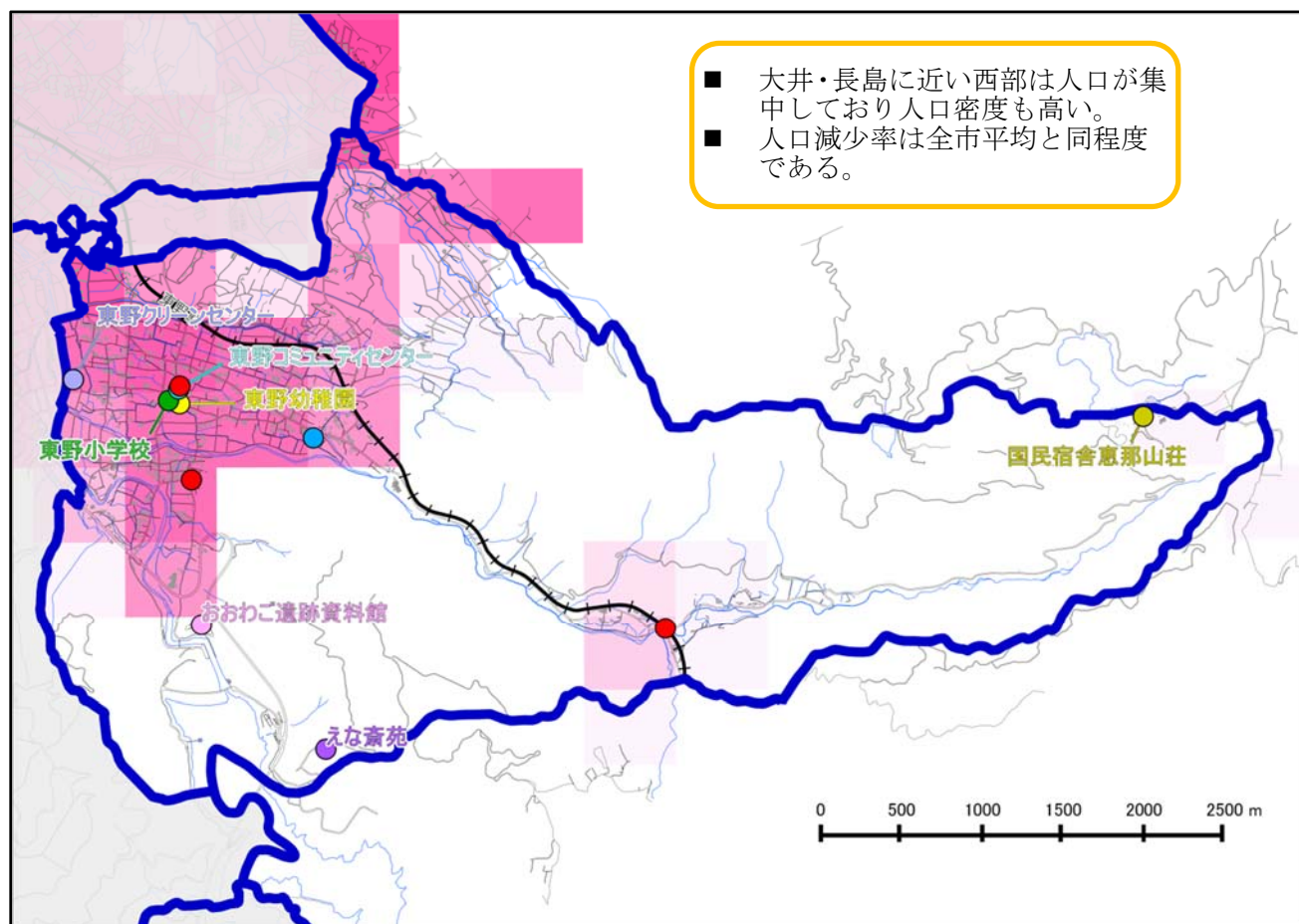
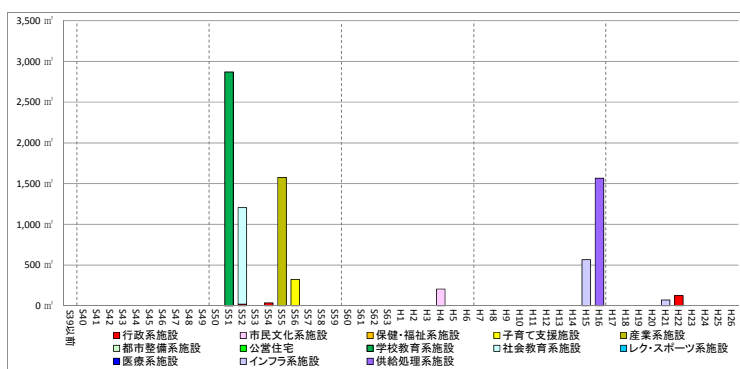
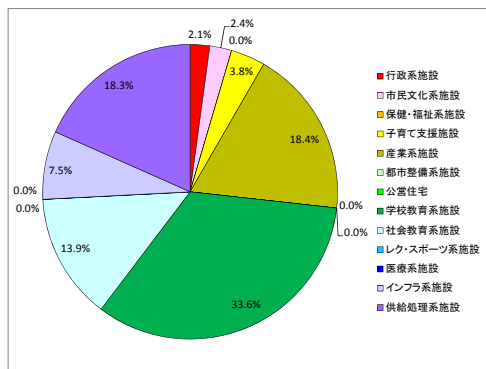
■ 大井地区に次ぐ18.5%の人口。
 ■ 人口減少率予測も比較的低いが、それでも22%減少する。

- 大井・明智と並び最大規模の施設を有する。
- 市役所・消防本部など行政の中心となる施設がある。
- 中学校、小学校2校、幼稚園、保育園2園など教育・子育て施設が多い。
- 市民会館・中央図書館・文化センター・共同福祉会館など社会教育・文化系施設も多い
- まきがね公園に各種運動施設も備えている
- ゴミ処理施設(エコセンター恵那)リサイクル施設(リサイクルセンター、ふれあいエコプラザ)がある。
- 築30年以上経過した施設の割合が高い。

東野地区

地区面積	17.16 km ²
人口(H26.4.1住民基本台帳)	1,752 人
人口密度	102.1 人/km ²
人口減少予測(H22-H47)	▲26.8% (H47:1,270人)

施設 延床面積	8,548 m ²
1人あたり床面積	4.88 m ² /人
1人あたり負担額	7.8 万円/人

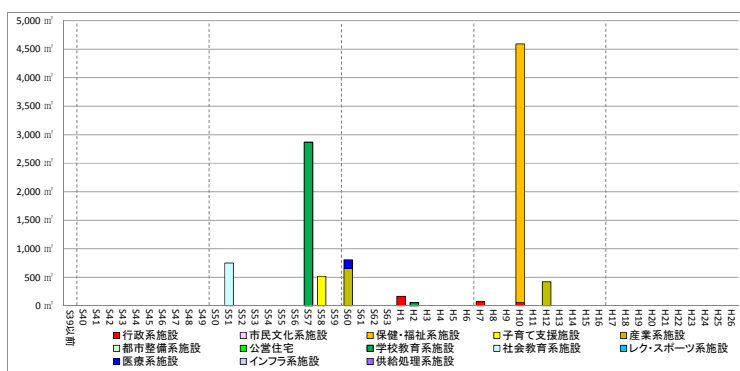
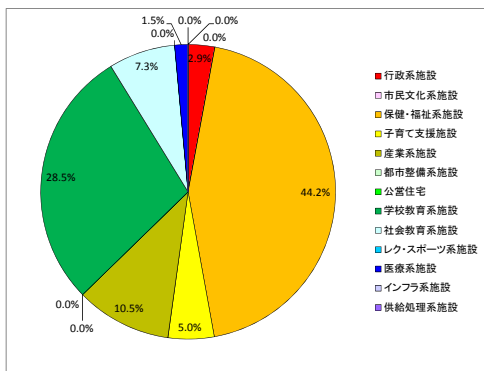


- 1人あたりの施設床面積は比較的低い、全国平均よりは高い。
- 施設は主に人口が集中する西部に分布しているが、恵那山荘のみ東部（保古ノ湖近辺）にある。
- 恵那市唯一の火葬場、えな斎苑がある。
- コミュニティセンターと振興事務所が一体化している。

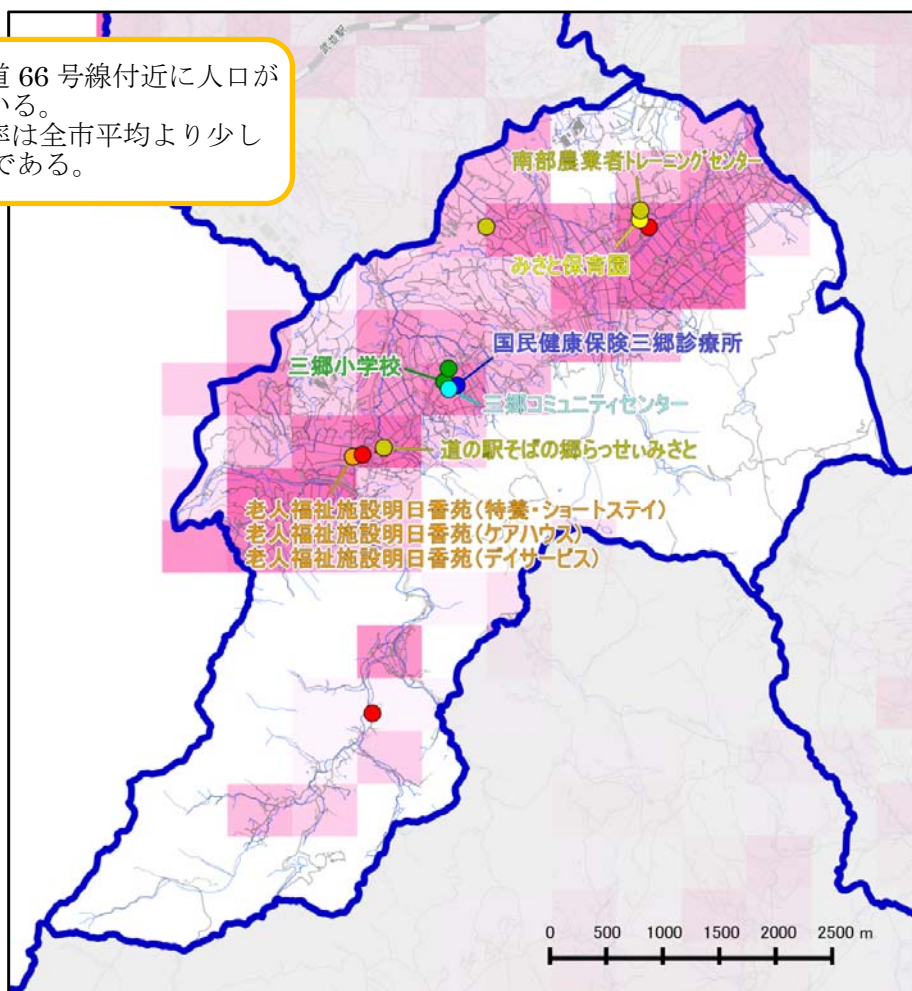
三郷地区

地区面積	24.92 km ²
人口(H26.4.1住民基本台帳)	2,558 人
人口密度	102.6 人/km ²
人口減少予測(H22-H47)	▲30.3% (H47:1,740人)

施設 延床面積	10,251 m ²
1人あたり床面積	4.01 m ² /人
1人あたり負担額	5.4 万円/人



- 北部の県道 66 号線付近に人口が集中している。
- 人口減少率は全市平均より少し高い 30%である。

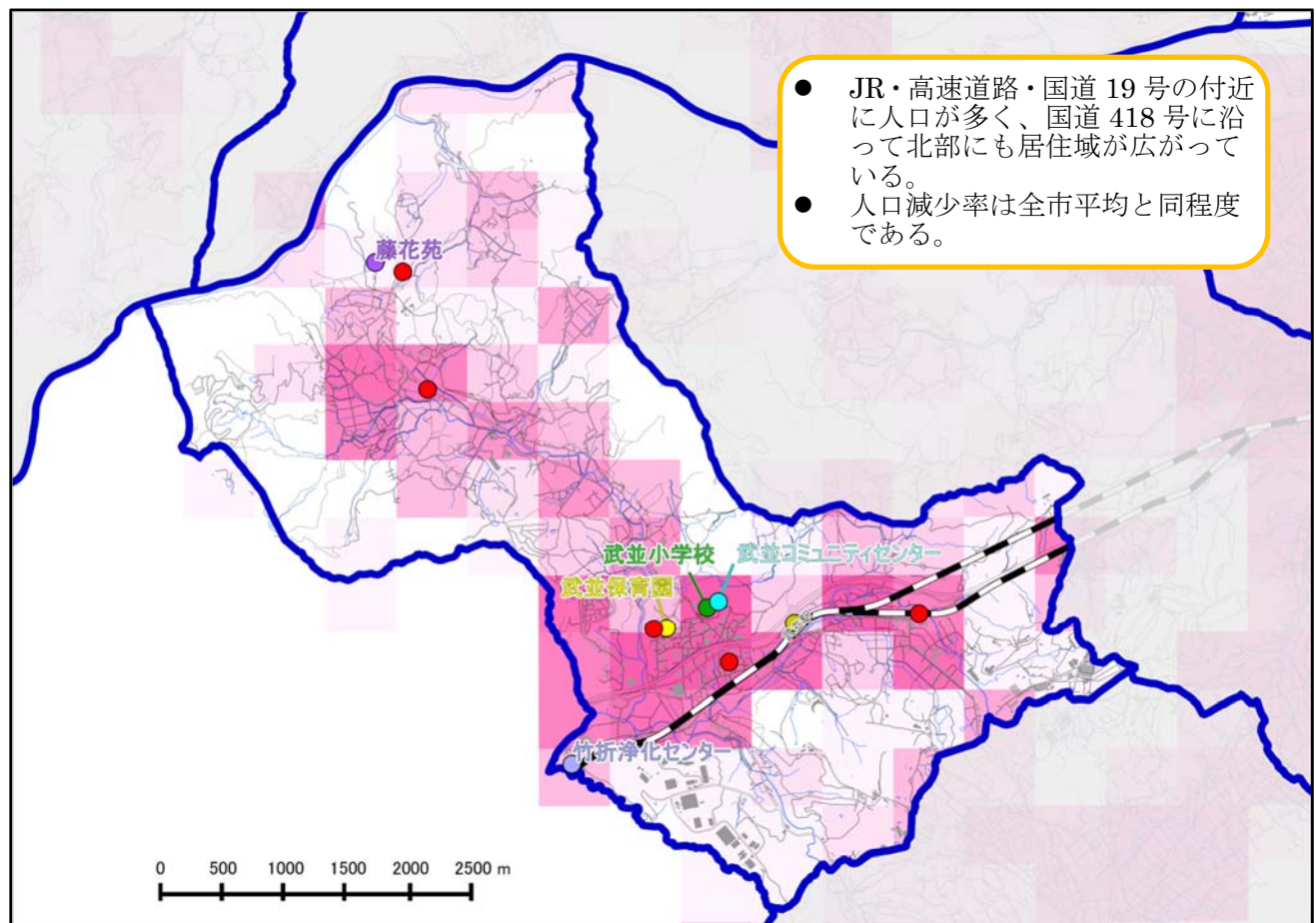
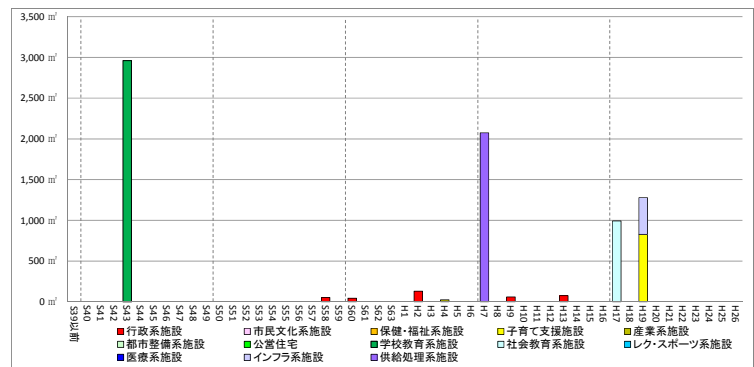
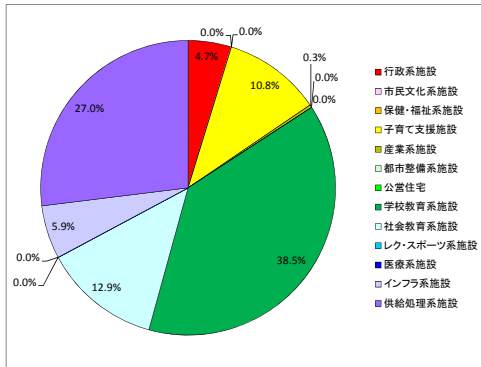


- 1人あたりの施設床面積は比較的低いが、全国平均よりは高い。
- 主な施設は県道 66 号沿いに分布している。
- 明日香苑が施設床面積の半分近くを占める
- コミュニティセンターと振興事務所が一体化している。
- 道の駅そばの郷らっせいみさとが国道 418 号沿いにある。

武並地区

地区面積	21.46 km ²
人口(H26.4.1住民基本台帳)	3,234 人
人口密度	150.7 人/km ²
人口減少予測(H22-H47)	▲26.0% (H47:2,360人)

施設 延床面積	7,695 m ²
1人あたり床面積	2.38 m ² /人
1人あたり負担額	10.3 万円/人

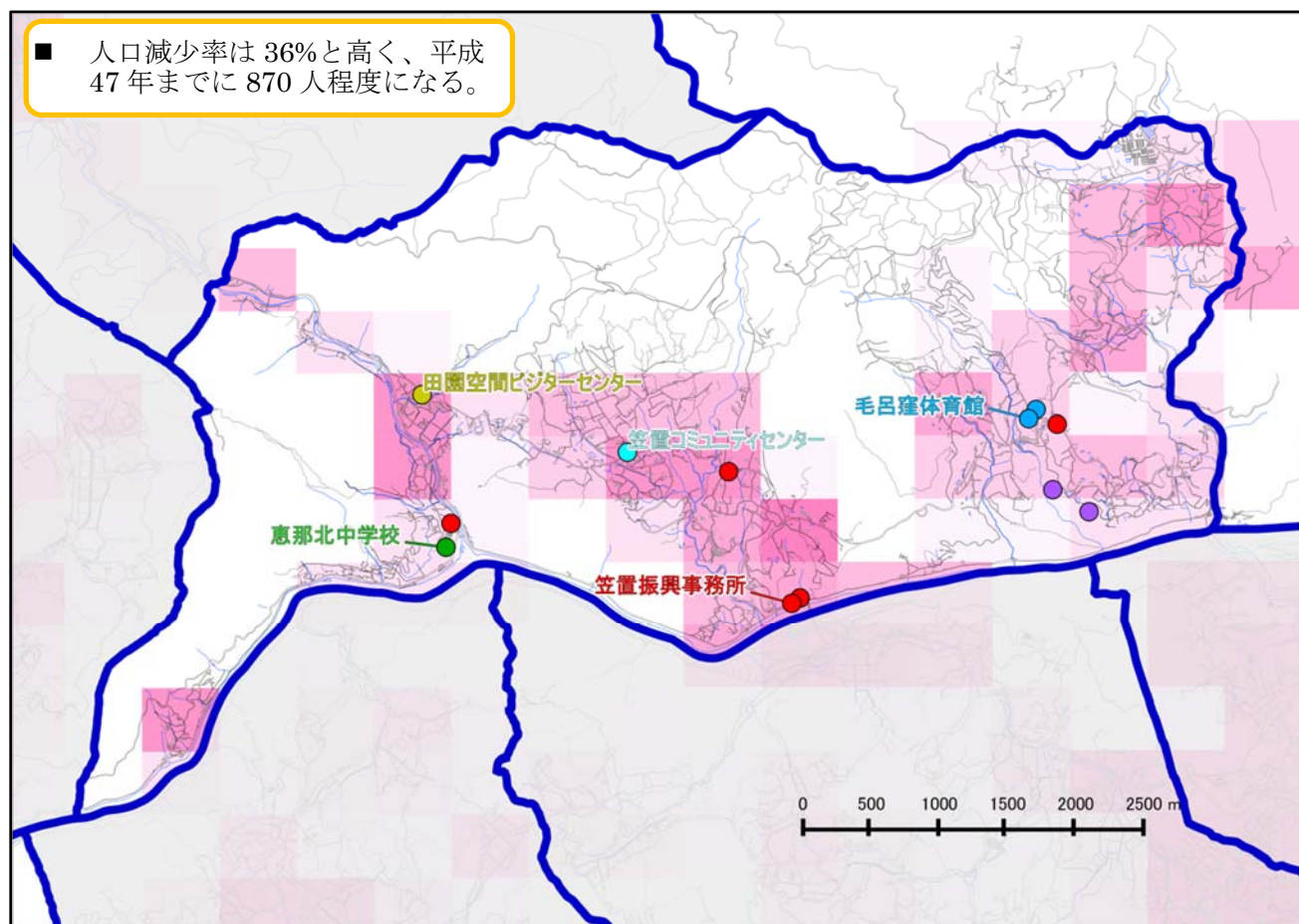
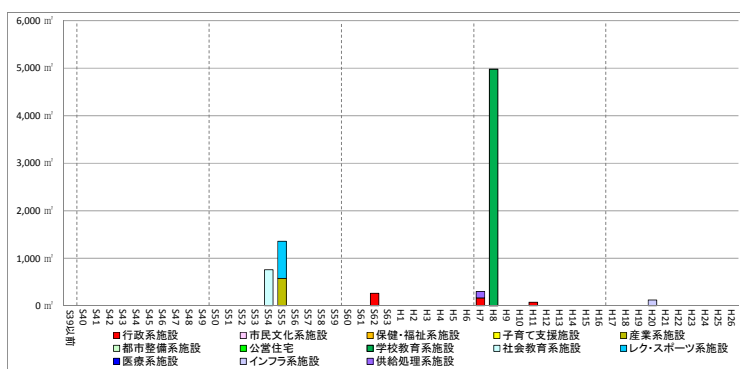
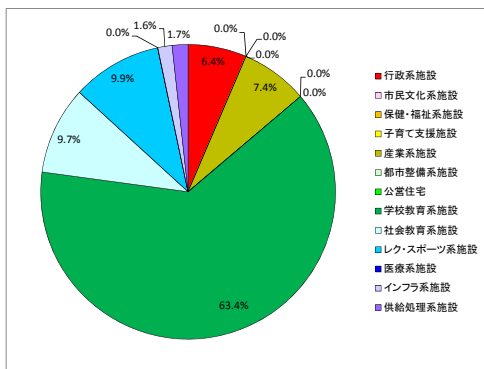


- 1人あたりの施設床面積が最小であり、唯一全国平均を下回る地区である。
- コミュニティセンター・保育園・小学校・衛生施設・消防団だけの施設構成になっている。
- コミュニティセンターと振興事務所が一体化している。
- し尿処理施設、藤花苑が北部にある。

笠置地区

地区面積	25.54 km ²
人口(H26.4.1住民基本台帳)	1,344 人
人口密度	52.6 人/km ²
人口減少予測(H22-H47)	▲36.3% (H47:870人)

施設 延床面積	7,859 m ²
1人あたり床面積	5.85 m ² /人
1人あたり負担額	4.5 万円/人

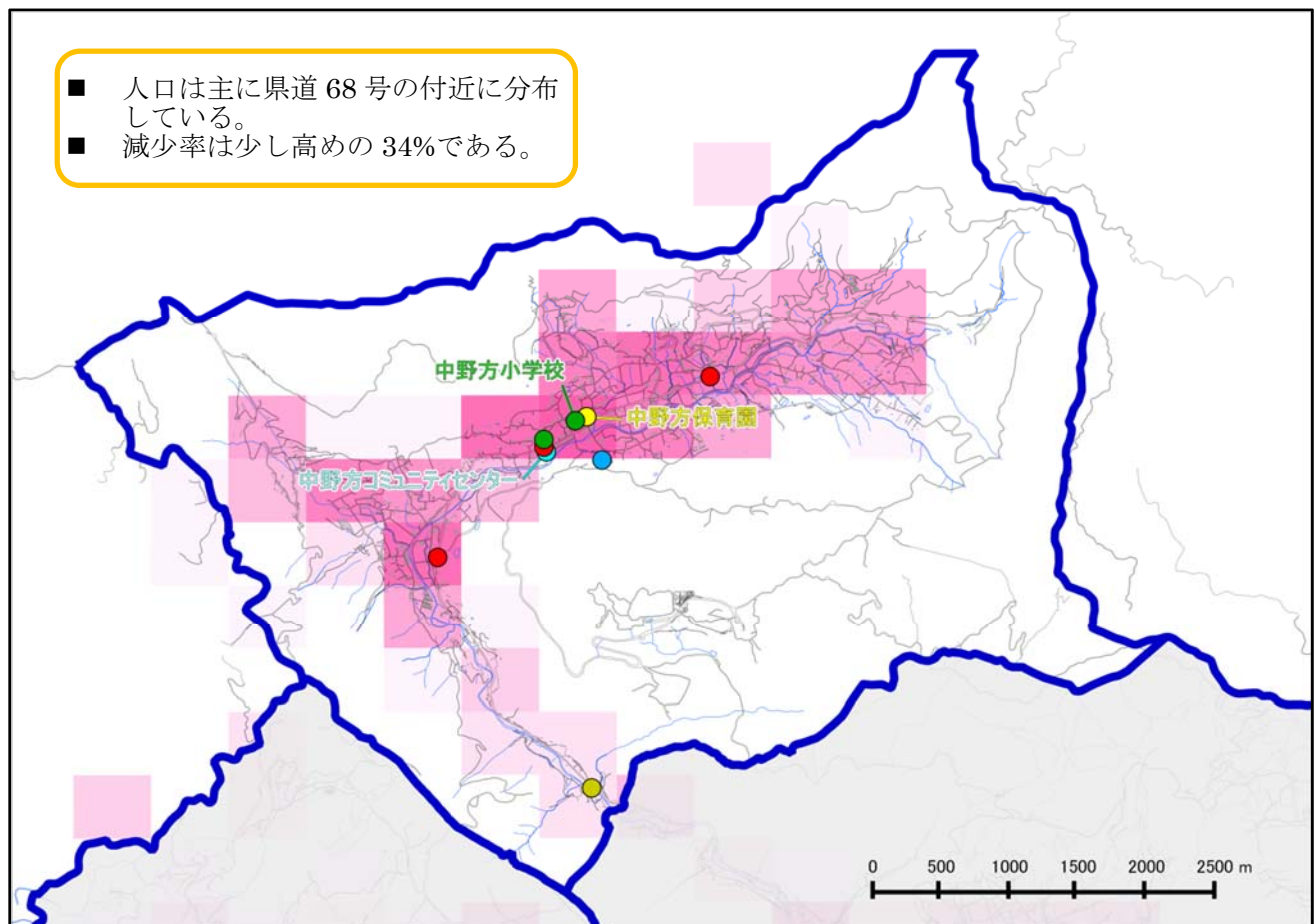
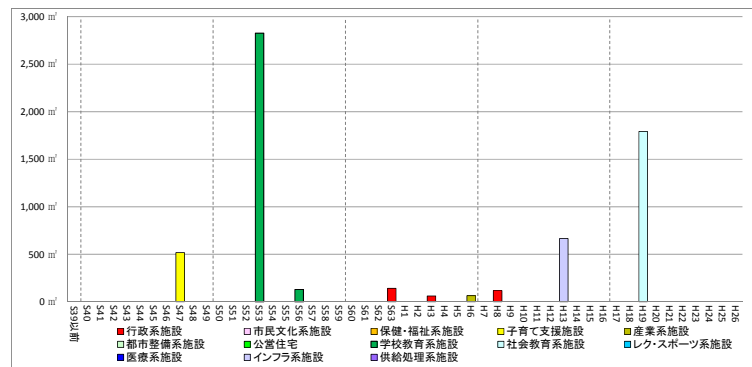
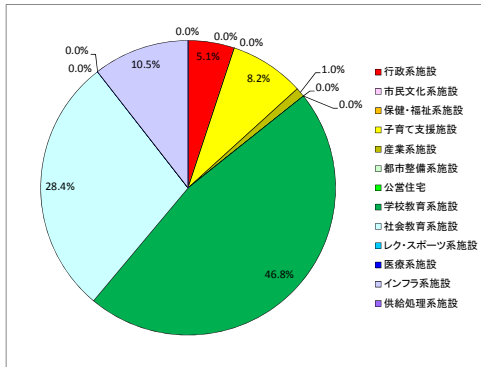


- 1人あたりの施設床面積は比較的低いが、全国平均よりは高い。
- 恵那北中学校以外の施設は規模が小さく、中学校が延床面積に占める割合が63%である。
- 小学校が地区内になく、長島地区の恵那北小学校に通う。
- 一般廃棄物最終処分場がある（建物規模は小さい）。
- 施設経費の1人あたりの負担額が中野方地区に次いで低い。

中野方地区

地区面積	23.64 km ²
人口(H26.4.1住民基本台帳)	1,697 人
人口密度	71.8 人/km ²
人口減少予測(H22-H47)	▲34.3% (H47:1,110人)

施設 延床面積	6,318 m ²
1人あたり床面積	3.72 m ² /人
1人あたり負担額	4.2 万円/人

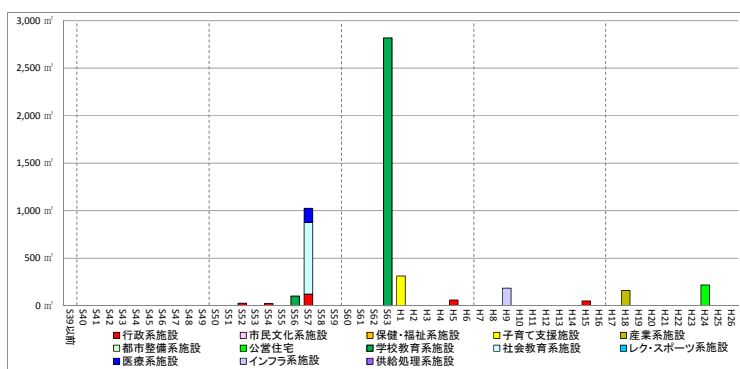
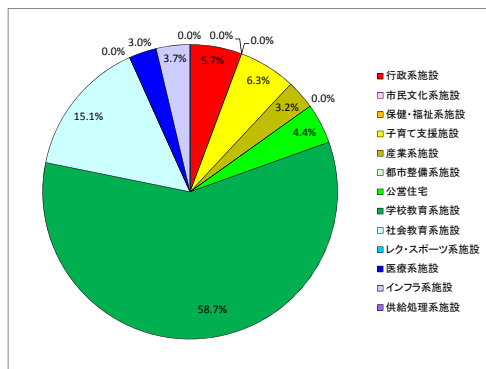


- 1人あたりの施設床面積は比較的低いが、全国平均よりは高い。
- コミュニティセンターと振興事務所が一体化している。
- 施設床面積に小学校・コミュニティセンターが占める割合が高い。
- 施設経費の1人あたりの負担額が他地区と比較して1番低い。

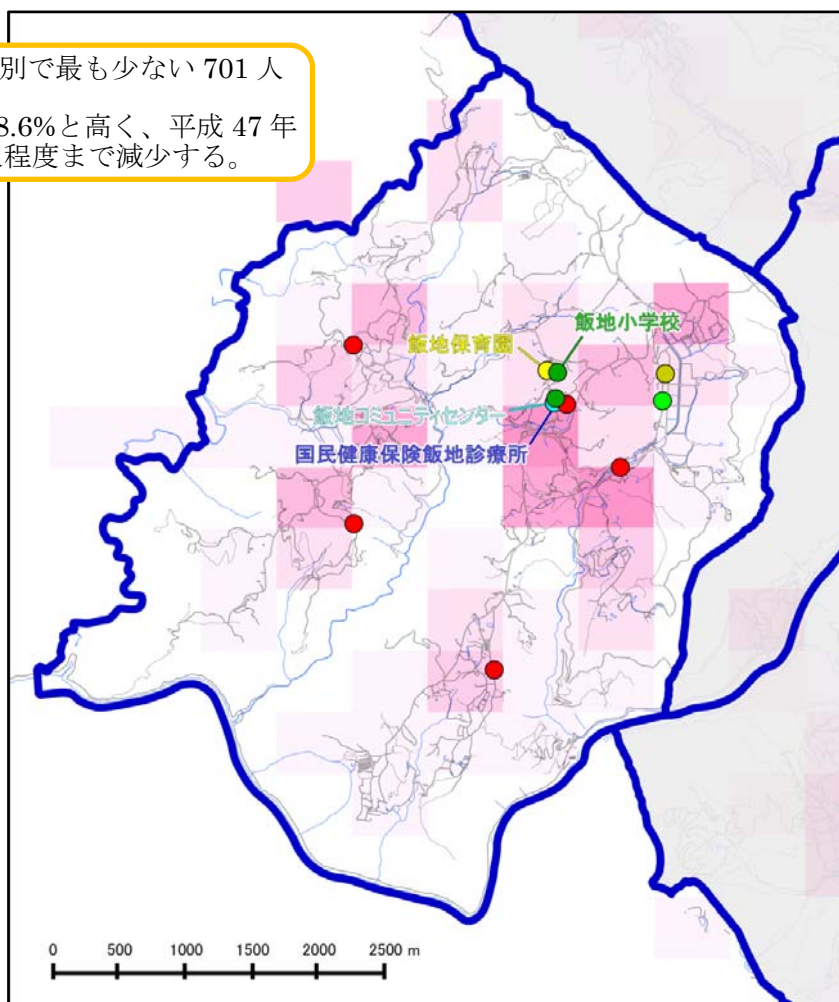
飯地地区

地区面積	19.27 km ²
人口(H26.4.1住民基本台帳)	701 人
人口密度	36.4 人/km ²
人口減少予測(H22-H47)	▲38.6% (H47:450人)

施設 延床面積	4,978 m ²
1人あたり床面積	7.10 m ² /人
1人あたり負担額	13.3 万円/人



- 人口は地区別で最も少ない 701 人である。
- 減少率は 38.6%と高く、平成 47 年には 450 人程度まで減少する。

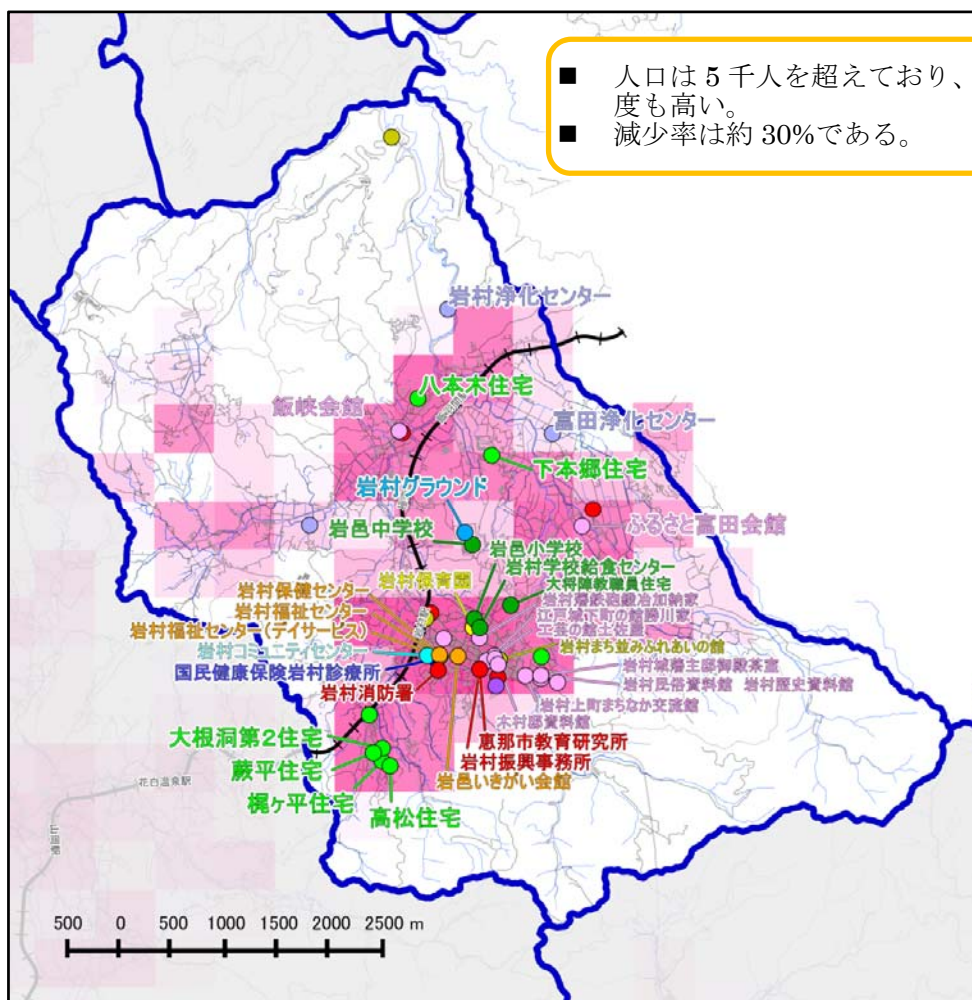
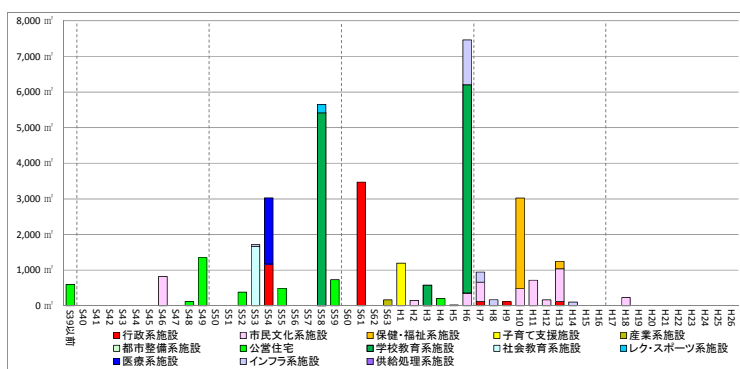
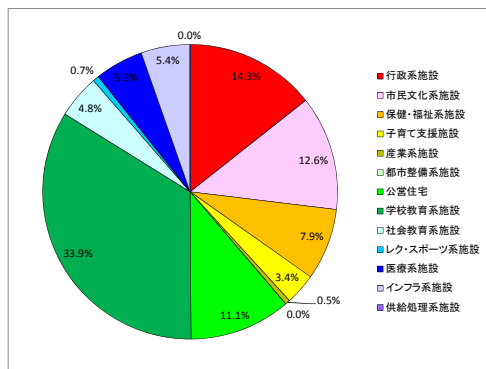


- 施設床面積は地区別で最小だが、人口が少ないため 1 人あたりの床面積は市平均より少し高い。
- コミュニティセンターと振興事務所が一体化している。
- 施設床面積の 6 割近くを小学校が占める。

岩村地区

地区面積	34.36 km ²
人口(H26.4.1住民基本台帳)	5,317 人
人口密度	154.7 人/km ²
人口減少予測(H22-H47)	▲30.5% (H47:3,640人)

施設 延床面積	35,448 m ²
1人あたり床面積	6.67 m ² /人
1人あたり負担額	9.9 万円/人



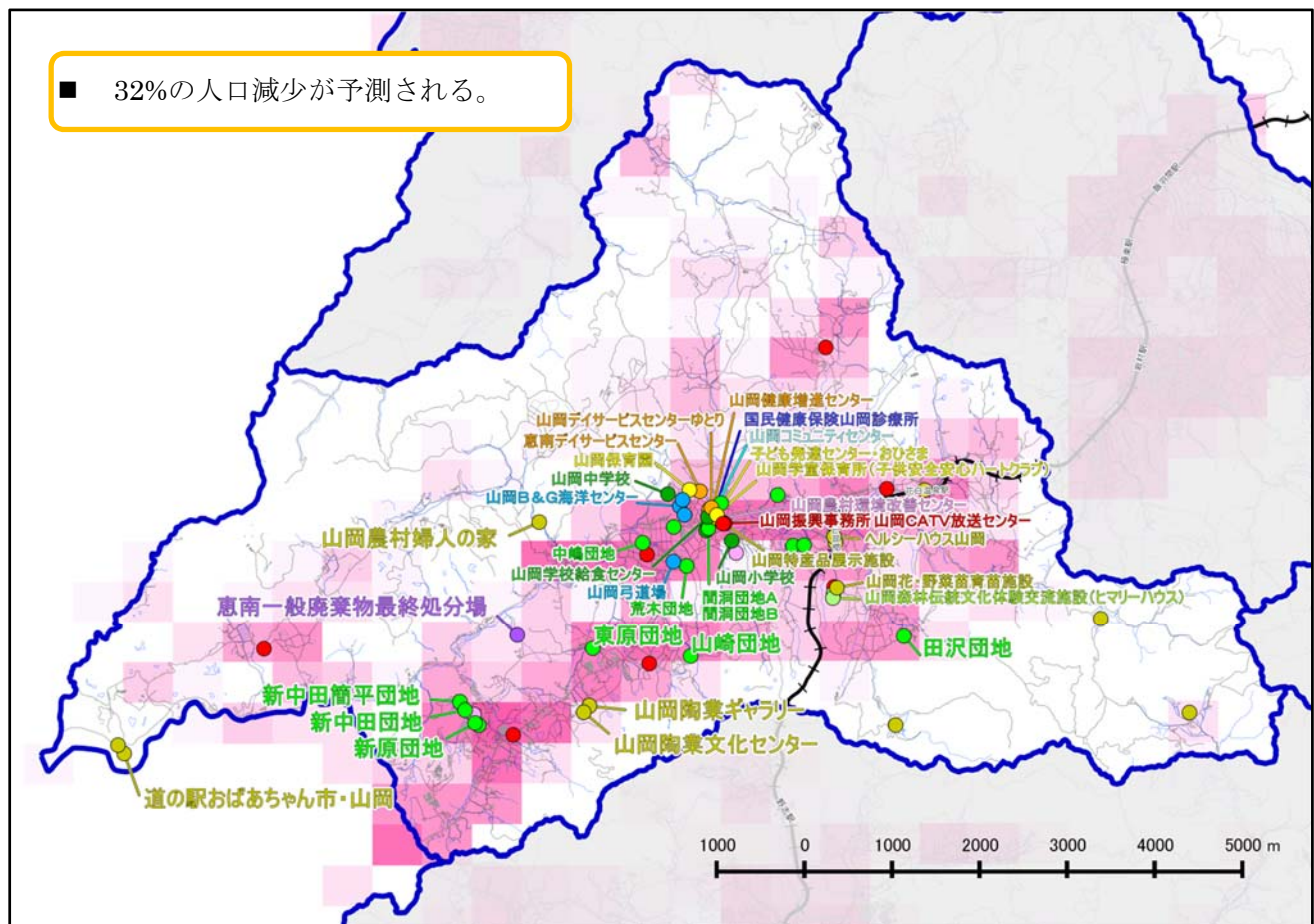
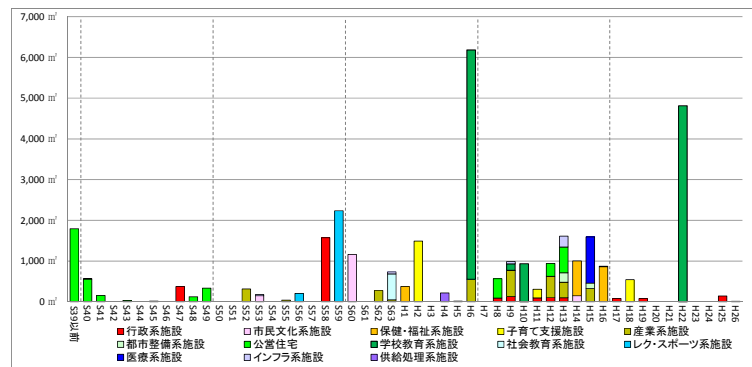
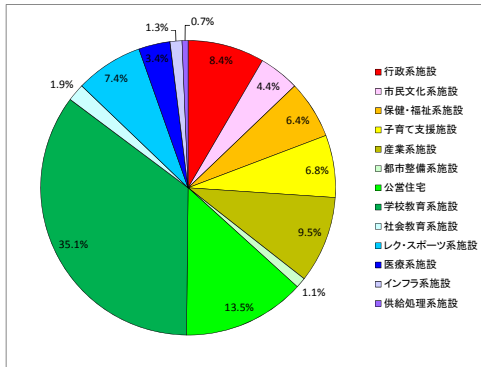
- 人口は5千人を超えており、人口密度も高い。
- 減少率は約30%である。

- 歴史・文化の資料館が多数ある。
- 岩村消防署があり、岩村・山岡・上矢作地区を管轄している（上矢作は分署あり）。
- 公営住宅の多くが築30年以上で老朽化している。

山岡地区

地区面積	60.96 km ²
人口(H26.4.1住民基本台帳)	4,619 人
人口密度	75.8 人/km ²
人口減少予測(H22-H47)	▲32.1% (H47:3,170人)

施設 延床面積	32,900 m ²
1人あたり床面積	7.12 m ² /人
1人あたり負担額	10.7 万円/人

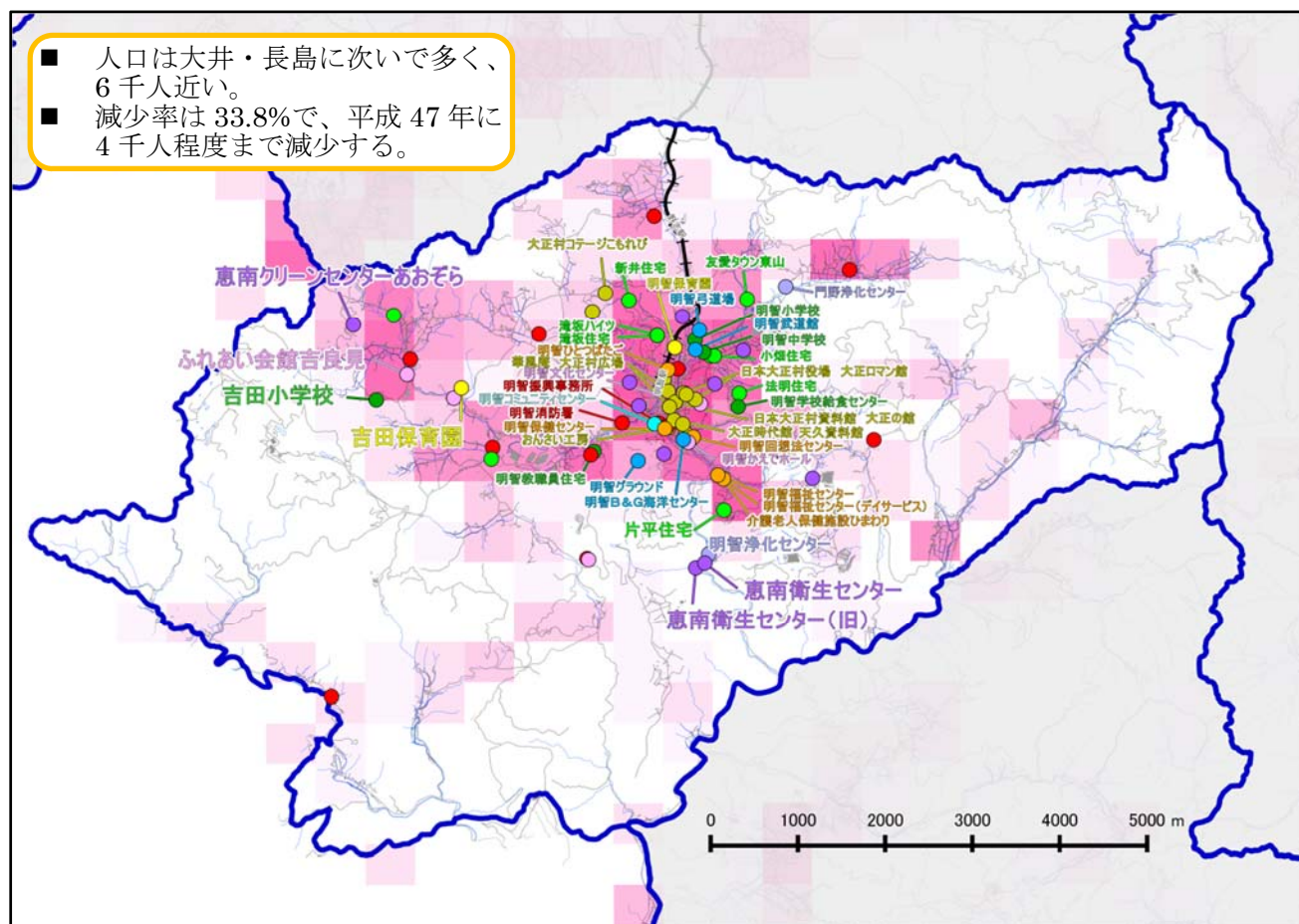
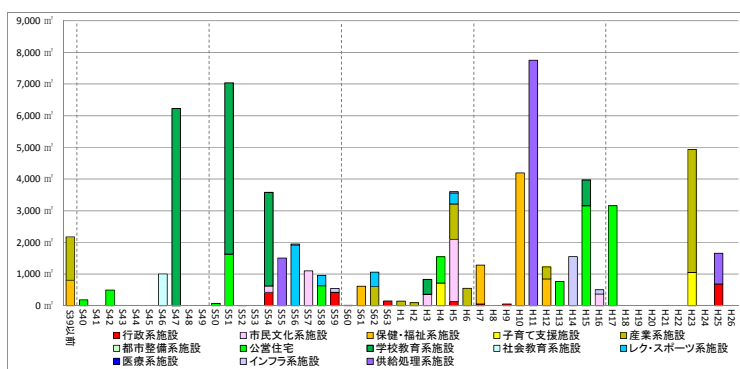
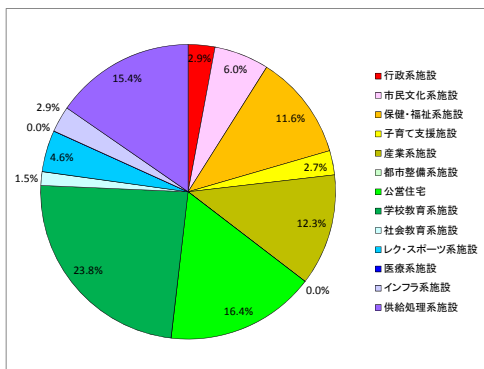


- 公営住宅が比較的多く、築 40 年以上の住宅も多数ある。
- 陶業関連の施設が 2 つある。
- スポーツ施設が一通りそろっている。
- 恵南一般廃棄物最終処分場がある（建物規模は小さい）。
- 道の駅おばあちゃん市・山岡が県道 33 号沿いにある。

明智地区

地区面積	67.13 km ²
人口(H26.4.1住民基本台帳)	5,873 人
人口密度	87.5 人/km ²
人口減少予測(H22-H47)	▲33.8% (H47:4,020人)

施設 延床面積	67,006 m ²
1人あたり床面積	11.41 m ² /人
1人あたり負担額	16.5 万円/人

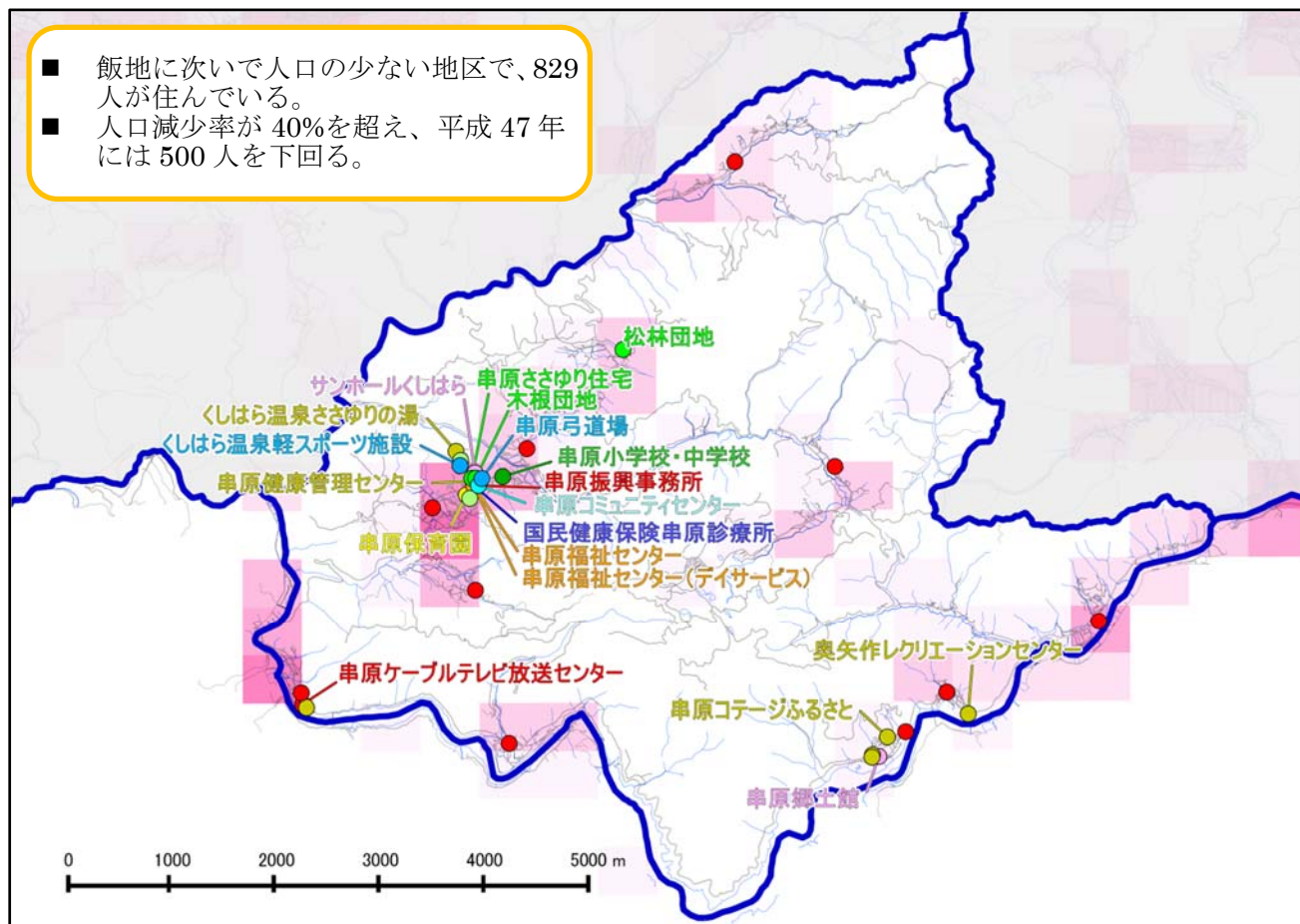
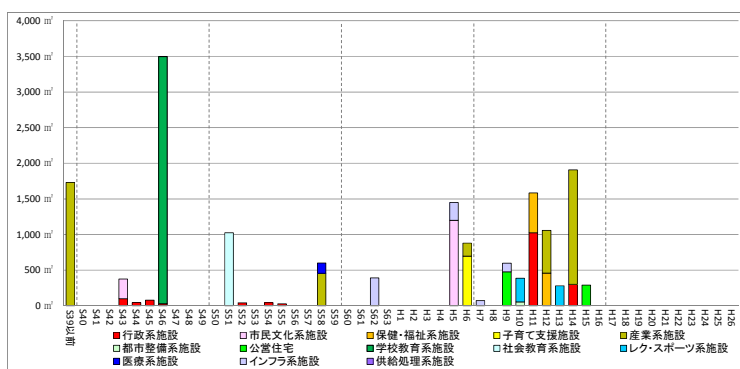
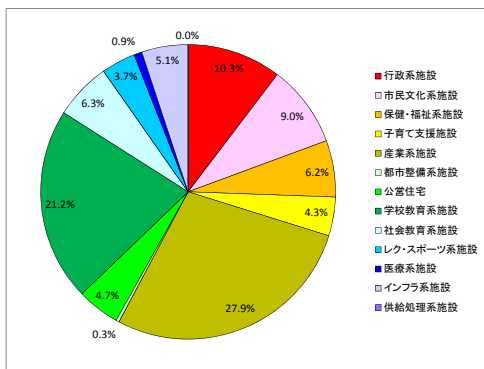


- 大正村関連の観光施設が多数ある。
- 規模の大きい文化施設が2つ（明智かえでホール・明智文化センター）ある。
- 保健福祉系施設が市内で最も多い。
- 公営住宅が市内で最も多い。
- スポーツ施設が一通りそろっている。
- ゴミ処理施設・恵南クリーンセンターあおぞら、し尿処理施設・恵南衛生センターがある。

串原地区

地区面積	38.22 km ²
人口(H26.4.1住民基本台帳)	846 人
人口密度	22.1 人/km ²
人口減少予測(H22-H47)	▲40.9% (H47:490人)

施設 延床面積	16,364 m ²
1人あたり床面積	19.34 m ² /人
1人あたり負担額	29.1 万円/人

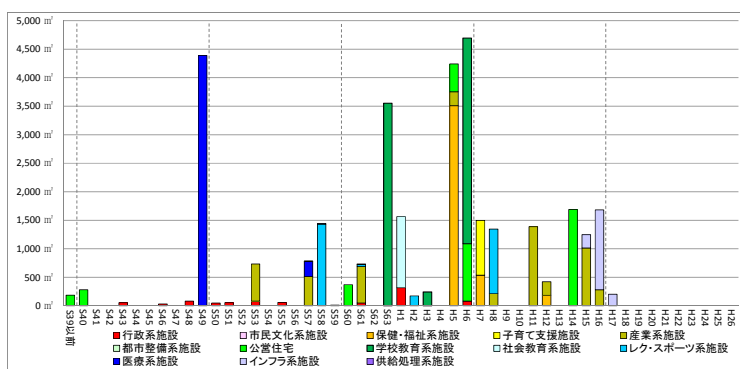
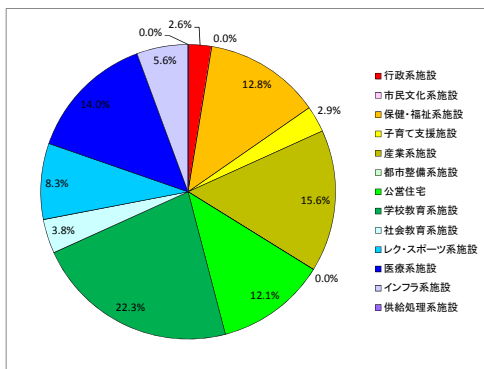


- 1人あたりの施設面積は他地区と比較して最も大きく、19.34 m²/人である。
- 1人あたりの負担額も29.1万円であり、市平均の2倍以上である。
- 産業系施設(農業・観光施設)の占める割合が比較的高い。
- 小中学校が一体化している。

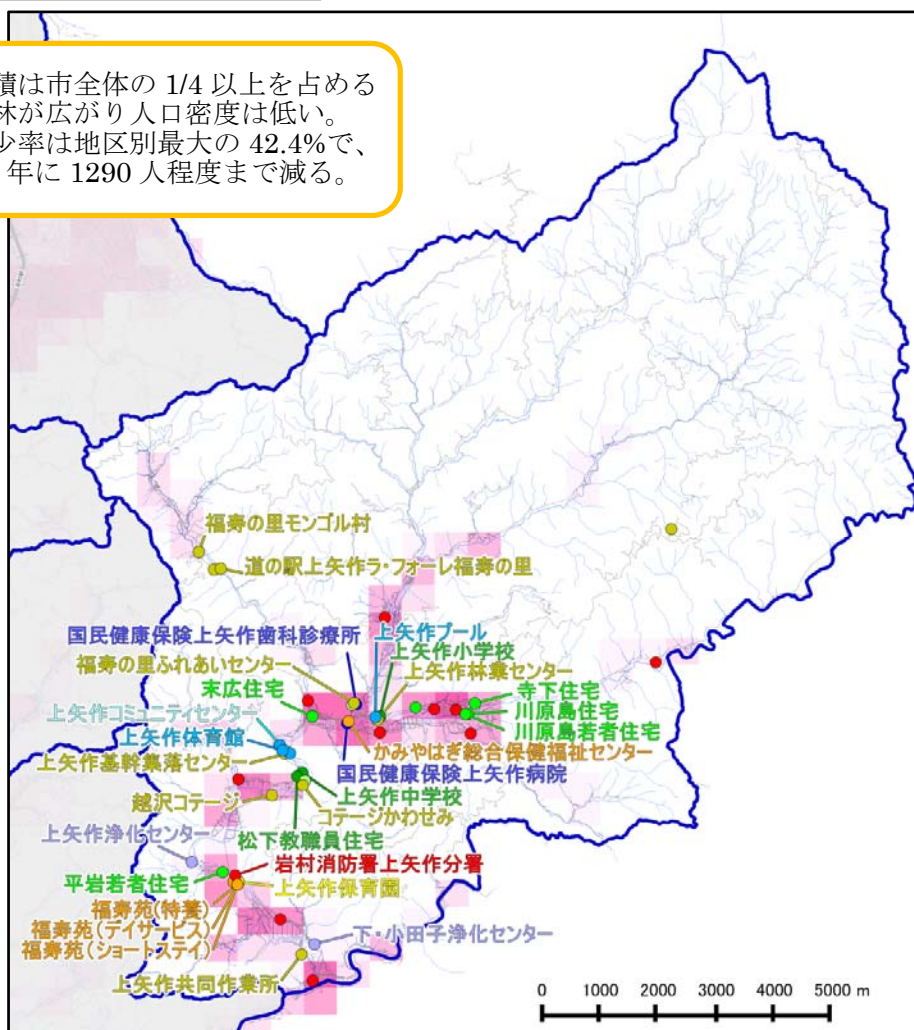
上矢作地区

地区面積	130.96 km ²
人口(H26.4.1住民基本台帳)	2,148 人
人口密度	16.4 人/km ²
人口減少予測(H22-H47)	▲42.4% (H47:1,290人)

施設 延床面積	33,195 m ²
1人あたり床面積	15.45 m ² /人
1人あたり負担額	36.6 万円/人



- 地区面積は市全体の 1/4 以上を占めるが、山林が広がり人口密度は低い。
- 人口減少率は地区別最大の 42.4%で、平成 47 年に 1290 人程度まで減る。



- 施設のほとんどが南西部に分布している。
- 1人あたりの床面積が 15.45 m²/人と串原に次いで多い。
- 道の駅、モンゴル村、コテージなど観光施設が比較的多い。
- スポーツ施設が一通りそろっている。